



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2008. 12. 24 (No.2530) 週報 No. 23

第2560地区ガバナー／馬場 信彦  
会 長／中村 和彦  
会長エレクト／菊池 渉 (クラブ奉仕A)  
副 会 長／樺山 仁 (クラブ奉仕B)  
幹 事／石月 良典  
S A A／明田川賢一  
会 計／杉山 幸英

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押してください)

■本日の出席会員数:59名中35名  
■先々週出席率:81.36%

【ゲスト】

・エフエム燕三条局  
パーソナリティー 高野一美 様

【先週のメイクアップ】

[12.18] 燕RCへ  
・加藤紋次郎さん  
[12.22] 三條南RCへ  
・菊池 渉さん、 五十嵐晋三さん  
・加藤紋次郎さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



万両

# 会 長 挨拶

中村和彦 会長

## 2008年度主要な国内ニュース



- 1月
  - ・大阪府知事に橋本徹氏
  - ・中国製ギョーザで中毒、中国産食品のトラブル相次ぐ
- 2月
  - ・「脱・ゆとり」で主要教科授業増、学習指導要領改定案
  - ・房総沖でイージス艦と漁船衝突
- 3月
  - ・日銀総裁が戦後初の空席、「ねじれ国会」で混迷
  - ・殺人事件で手配の男が8人殺傷、茨城・土浦のJR駅で
- 4月
  - ・後期高齢者医療制度スタート、保険料の年金天引きに批判
  - ・「メタボ検診」始まる
- 5月
  - ・中国国家主席、10年ぶり来日
- 6月
  - ・東京・秋葉原で無差別7人殺害
  - ・岩手・宮城で震度6強、13人死亡
  - ・大分県教委汚職で小学校長ら逮捕、県教委教育審議監も
- 7月
  - ・洞爺湖サミット、温室効果ガス排出量半減の長期目標
  - ・竹島領有権問題を学習指導要領解説書に明記、韓国は反発
  - ・「ゲリラ豪雨」の河川増水で小学生ら5人死亡、被害相次ぐ
- 8月
  - ・北京五輪で日本は「金」9個、競泳・北島選手ら連覇
  - ・アフガニスタンでNGOの邦人拉致、遺体で発見

- 9月
  - ・福田首相が突然の退陣表明、後継は麻生首相
  - ・佐渡のトキ、野生復帰に向け放鳥
- 10月
  - ・ノーベル物理学賞に南部、小林、益川氏、化学賞には下村氏
  - ・東京株、バブル後最安値を記録
- 11月
  - ・元厚生次官宅襲撃事件で3人死傷、出頭の無職男を逮捕
  - ・厚生年金記録改ざん、社保事務所「組織的関与」の報告書

平沼潤一さん

先週のX'mas例会、単身参加でしたが、美味しくいただきました。親睦委員会の皆様、ありがとうございました。

松永一義さん

夜例会、ありがとうございました。

会田二郎さん、 渡辺勝利さん、 樺山 仁さん、  
中村和彦さん、 五十嵐昭一さん、船越正夫さん、  
石月良典さん、 明田川賢一さん、渋谷健一さん、  
浅野金治さん、 杉山幸英さん、 丸山行彦さん、  
米山智哉さん

高野様、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

石橋育於さん、 齋藤真澄さん

都合により早退させていただきます。

## 幹事報告

石月良典 幹事

◎2009年1月21日(水)は、4クラブ合同例会講演会です。

と き 2009年1月21日(水)

ところ ハミングプラザVIPグランドホール

日 程 PM12:00～食事

(AM11:30～食事の用意ができています)

PM12:30～開会点鐘

PM12:35～講話

PM 1:40～閉会点鐘

※通常例会の時間より開会30分早く、閉会10分遅くなりますのでご協力お願い致します。出欠表を回しますのご記入ください。

PM12:00までにご集合ください。

◎次週12月31日(水)はクラブ休会となりますので、よろしくお願ひ致します。尚、1月7日(水)より例会を開催致します。

◎植木ガバナーエレクト事務所より2009～10年度国際奉仕委員会青少年交換委員会委員の委嘱状が届いております。萩根澤隆雄会員

12月24日分 ￥ 21,000

今年度累計 ￥665,000

## 1月のお祝い

### ◎会員誕生祝

- 1日 野崎喜一郎さん
- 11日 五十嵐昭一さん
- 11日 五十嵐晋三さん
- 20日 小越憲泰さん
- 23日 丸山行彦さん
- 24日 川瀬康裕さん
- 27日 樺山 仁さん
- 27日 野水文治さん



### ◎夫人誕生祝

- 16日 山田幸恵さん (富義さん)
- 17日 浅野ちか子さん (金治さん)
- 27日 渡辺美代さん (勝利さん)

### ◎結婚記念祝

- 7日 捧 賢一さん (ミヨエさん)

### ◎100%出席賞

- 25年 五十嵐晋三さん
- 24年 五十嵐昭一さん
- 19年 齋藤弘文さん
- 16年 石橋育於さん
- 16年 日戸平太さん
- 2年 石月良典さん
- 1年 伊藤寛一さん

## ニコニコBOX

齋藤弘文さん

今年一年間、本当にお世話になりました。来年もよろしくお願ひ致します。

石塚欣司さん

一年間お世話になりました。

来年もよろしくお願ひ致します。

若槻八十彦さん

先週はクリスマス会、楽しませてもらいました。

本日は、高野様、卓話よろしくお願ひします。

## 卓 話

### 「出会い」

# をかた

エフエム燕三条局

パーソナリティー 高野一美 様



今日は、私のような者の話を聞いてくださる時間を作っていただきまして、ありがとうございます。また、皆様の貴重な時間を無駄にすることが無いよう、精一杯努めたいと肝に銘じてきたのですが、先程、週報に載せるので原稿か何か有りませんかと聞かれましたが、頭の中には入っていますが、有りませんと答えました。したがって、取り止めのない話になるかもしれませんが、御了承ください。

私は、エフエム燕三条放送局でパーソナリティーを担当しております。先程、パーソナリティーとは何ですか？と質問を受けましたが、番組の中では、昔風に言えばデスクジョッキーとアナウンサーの間と考えています。

アナウンサーのように原稿や天気予報、生活情報も御紹介しますし、葉書の御紹介であったり、質問に対する答えを交えた話、またスポンサーの様々な要望・紹介等々、番組内での何でも屋なのかもしれません。

私は、最初からアナウンサー、デスクジョッキー、パーソナリティーになろうと思っていたわけではありませんし、夢を持ってこの業界に入ったわけはありませんが、入るきっかけの出会いがありました。

マイクの前で話す職につくようになったのが、昭和55年でした。私が20歳前でして、ハミングプラザVIPさんが当時まだ建設中でしたが、スタッフ・職員として応募しました。司会になるためではありませんでした。しかし、何か新しい仕事がしたいという気持ちは持っていました。そこで、面接をしていた方が加藤紋次郎さんでした。そしてその時、司会をやってみないかと言われました。

当時私はまだ結婚式の様子もわかりませんし、その司会の仕事も理解しないまま「はい、そうですね。」と答えてしまった時が、私の運命を大きく変えた基点だったと思います。

結婚式はもちろんですが、色々なファッションショーやディーナーショー、イベント、竣工式等の司会を最初はただこなしていくのが精一杯の状況でした。しかし、数年が過ぎ、私も結婚し、子供も生まれ、家族を持つ立場になった時改めて、なんて大事な仕事を受けていたんだろうと思いました。

皆様も出席する結婚、葬儀等の司会、一生の中で大切なときに20歳そこそこの若輩の私がやってきたと思うと、今考えると、こわいことと思いました。そんな様々な経験や失敗、そして出会いを重ねていく中で、今のFM放送に携わることができました。また、これは私がイベント会場や結婚式の披露宴で出会った人から次の仕事の紹介や相談を受ける中で、さらに広い仕事のチャンスに出会うことになりました。

私のラジオ放送は生が主体ですので、つい言ってしまった失言にクレームがつく場合もありますが、それはそれでありがたいと思っています。それは、私に感心がなければ誰も注意してくれませんが、私に良くなってほしい、もっといろいろ気付いてほしいとの思いと考えています。今は、そのような大変な仕事に携わっている充実感を感じていることも事実です。

ただし、先日来不況で派遣社員が契約を打ち切られたり、リストラになったりの話もありますが、実は私も現在半年毎の契約社員です。ですから、番組のできが悪ければ半年後の退職もありますが、それはそれで程良い緊張感の中で仕事をさせてもらっていると思っています。

つい先日ですけれども華道家の假屋崎省吾さんのショーを拝見する機会に恵まれました。ゆっくり座ってディナーなどを食べながら見れば一番よいのですが仕事がらみでしたので、舞台のソデからチラチラとしか拝見することが出来ませんでした。ちょっとオカマ系の独特のキャラクターの假屋崎さんがちょっと面白いことというか、いい事を言っていて私が書き留めた事があったのです。

料理をする時の大事な調味料で『さしすせそ』って皆さんご存知ですよ。

男性で料理をする方は少ないかも知れませんが、その料理の『さしすせそ』、にならって私自身は「かきくけこ」を大事にしているんです。というふうに假屋崎さんはおっしゃってました。

『か』って言うのは感謝、感動、『き』と言うのは緊張感、ですね。今私もバクバクしてます。程よい緊張感は人間にとって大事だと。旦那さんが帰って来て疲れた一なんて時に奥さんが化粧っ気も何にも無い素顔で、ダラーンと伸び切ったジャージ着て「はいお帰り、ご飯その辺にあるわよ。」なんて言ったら家庭が不和に繋がる。奥さんも旦那さんを迎える時には薄化粧でいいからちょっと身支度整えたりするっていう緊張感は大変なんだよ。なんて話をジョークを交えながら話してらっしゃいました。『く』は、くつろぎ。さっきとは逆になりますが程よい緊張感こ

これは良いアドレナリンが出て心身共にいつまでも若くいる秘訣であると同時に、何時も緊張してたら張りつめた糸が切れて人間何時どこでぶつんといくかわからないから人間程よくつろぎ、安らぎも必要であると。別に贅沢をして海外旅行してつろぐというんじゃなくて、たった一杯のお茶を飲んで「あー」って一息をつく、それだけでも十分なくつろぎになる。贅沢しなくてもつろぎはまわりで見つかるというお話もしてらっしゃいました。そして、『け』は何よりも健康。どんなにお金があっても不健康であれば幸せではないし、やりたい事もやれない。動きたくても動けない。健康はもちろん大事であるということもおっしゃってました。そして、最後、『こ』は好奇心。新しい事に目を向ける。新しい事を見つけて挑戦する。そういう好奇心も若さを保つ秘訣。大切なんだよという話をしていました。

当たり前の言葉なんですけども、ああなるほどな。やっぱりそれなりに一角の事を成し遂げた方っていうのは同じ言葉でも重みがあるなって関心する場面もありました。私自身この年齢になるまで20代は結構なにも先の事を考えずに取りあえず目の前にある仕事だけをこなしてという形で過ごしてきました。30代、40代になっていろいろ世間を知ってくると迷いが出てきます。

私はこのままでいいのだろうか？この先どうした方がいいのだろうか？というふうになんとも考えるようになりました。あれこれ悩んで仕事を続けようか、もっと違う道があるのだろうか。もしかしたらもっと冒険をして、また二十歳の時みたいに違う世界、違う道に飛び込んでみようかなっていう思いもあったんですけどもやはり年齢的にちょっと守りに入りますよね。家庭を持ってからは、無理な冒険をして経済的に破綻をきたしたらうちやっていけないしなって不安もありましたし、若干の守りに入ってちょっと仕事セーブしてやり慣れた仕事だけ取りあえず暫く何年か続けた時代がありました。でも3年程前でしょうか、ちょっと体調を崩して生まれて初めて入院をした時に、平凡な生活とかそのやり慣れた仕事がどんなに大切に掛け替えのないもので、今これを無くしたら私どうしようって思う位愛しく思えました。と言いますのも正直実は私脳梗塞で入院したんです。当時まだ40、今もまだそうですが40代で脳梗塞っていうのはちょっと自分の中でも信じられないという思いがありましたし、ある日突然、というか2日位前に前兆みたいな症状があったんです。1月お正月明けの真冬の寒い日でちょっと左手先がしびれる。それでも寒いせいで、まあ根が冷え

性だったので、あ、寒いからちょっと手足が冷たいだけで、いつもと変わらない大丈夫だなと思って翌日とあるホテルで披露宴結婚式をこなしました。夜家に帰って床について、でも夜中にふと目が覚めて立ち上がろうとした時に左足に力が入らなくて立てなかったんです。這ってうちの母のところに行きまして、ちょっと左手足がしびれてうまく動けないで言ったら、うちの母が私の伯父母の兄が以前脳梗塞でやはり倒れて入院した事がありましたのでその症状はもしかして脳梗塞かもしれないと、言うことで慌てて親戚に電話して救急車をよんで即入院して処置が早かったので大事には至らなかったんですけども、その入院をした時に、あっ、もしかしたら私このままテレビで観た、長嶋茂雄さんや坂上二郎さんのように半身動けなかったり歩けなかったり喋れなかったり、若しくはうちの伯父のように意識が混濁して、家族の顔の判別も付かなくなるかもしれないっていう恐怖心を病院であじわった時に、恐怖心と共に当たり前にやってきた生活と仕事が本当に愛おしくて失いたくないと思いました。

無事それでもなんとか軽傷ですみましたし、2週間程リハビリをして人並みに歩くようにもなれましたし、掴むようにもなれましたし、幸いな事に右脳の方でしたので症状が出たのが左半分ですから、左脳ですと右手足にマヒが残ったりとか、あと記憶や意識あと言語中枢なども左にあるので血栓がつまると喋れない、あるいは意識や過去の記憶というものがちょっと翔んだりと言うことで、かなり重傷なんですけれども先生曰く、まあ場所が運良かったのかなという風に言っていただきましたし、いやあとでも脳梗塞とは思えない普通に動けるから高野さん仮病じゃないの、なんて院長先生が冗談でも言ってくれたりもして少し救われた部分もありました。幸いな事に仕事にも復帰する事が出来ましたし、周りにも私が脳梗塞患ったにも関わらず、これまでと同じように仕事を振って下さるといふか、回して下さるといふか、そうですね、信頼をさせていただいている証拠なのかなと少し安心はその時は致しました。

でも、当時私が抱えていた番組の担当を一時、代わっていただいた訳ですから局長にしろ同僚や後輩たちにしろあと契約をしていたホテルと結婚式場さんも、そのシーズンの春の予定が結婚式で埋まっていたから、もしその療養が長引くようであれば、それこそ私のクビは切って他の方に引き継ぐという形になったんでしようけど、暫くの間はピンチヒッターを入れてなんとか我慢していただいて復帰するのを待って温かく迎入れていただけたというのは大変感



謝しています。

そう言う意味で私は結婚式の仕事もイベントの仕事もラジオの仕事も、いろんな人に出会って仕事をして行く中でいい信頼関係を築けていたから、そういう仕事が続けられてきたのかなという気がします。まだまだこの仕事は続けていきたいと思っていますが、もしまた私にトラブルがありまして、とても人様の前にお出しできる状態ではないという事になりましたら、そのうちクビを切られる事もあるかもしれませんけれども、でもそれまではせっかく与えていただいた、信頼して与えていただいた皆さんの期待に沿えるように、仕事はいつも万全を尽くして百点満点は無理だとしても、自分の中での今の段階の百点が出せるように努力はして行きたいし、皆さんの期待にも応えていきたいというように思っています。

そして、欲を言うならば、今日こうして初めてお会いする方もいらっしゃるし、これまでに何度かお会いしている方もいらっしゃるのです、これを機会にまたどこかでお会いする機会があってお話、声をかけていただけるお気持ちなどございましたらお声をかけていただけると励みになりますし、またこういう機会に恵まれた事を心から感謝しております。願わくば今日はこういう限られた時間、皆さんほんとに貴重な時間いただいて、ほんとに最初にいった通り取り止めのない話になってしまいましたが、皆さんにとって今日のこの私と皆さんとの出会いが心に深く刻んでもらえたらというのは贅沢かもしれませんが、心の片隅にちょっとだけ投げとおいていただいて、なにかの時にあんな事があったとか、あんな子がいたっけ位の記憶に残しておいていただけてまた何処かで何かの繋がりがあればと思っております。ほんとはあれも言おうと昨日までは考えていたのですが中々上手く纏まらずに原稿も無しに来てしましましてほんとうに皆さんには恐縮です。以上をもちまして私の話し結びとさせていただきますと思います。

今日は貴重なお時間すみません。ありがとうございました。

次週例会 1月7日 外部卓話 三条市長 國定勇人 様

次々週例会 1月14日 「ロータリー理解推進月間」  
R情報委員長 小越憲泰 会員

